

令和6年度 総務部運営方針

部局名 : 総務部

部局長名 : 虎間 麻実

基本方針（政策目標）

本市財政は、「第2次泉大津市財政運営基本方針」（令和3年度～令和7年度）に基づき、財政調整基金をはじめとする基金残高の増加と共に、財政健全化指標が着実に改善されてきました。引き続き、地方債残高や社会保障費の増嵩、老朽化した公共施設の更新などを考慮しつつ、「第2次泉大津市財政運営基本方針」に基づき、同指標の改善及び、健全な行財政運営に努めてまいります。

市有施設の整備についてはファシリティマネジメントの観点を持ち、また、市庁舎の環境整備については、利用者の利便性と職員の効率的な働き方の双方に資するよう、それぞれを計画的に進めてまいります。

以下の業務を進めるにあたり、「書かせない・待たせない窓口」をめざし、事業者の専門的な知見の活用を図るとともに、電子化やシステムの導入を推進し、市民サービスの維持・向上を図ってまいります。

① 「第2次泉大津市財政運営基本方針」（令和3年度～令和7年度）に基づき、近年多発する自然災害をはじめとした突発的な財政需要にも耐えうるように予算の適正管理・執行に努めるとともに、次期財政計画の策定に向けた準備を進めます。

② 歳入の安定的な確保のための実態調査や課税客体の的確な把握と適正な賦課徴収に努め、納税に対する意識を深めてもらえるように勧奨を進め、滞納処分
の早期着手、滞納繰越者の実態把握や換価が安易な債権の差し押さえ等を行い、徴収率の維持・向上を図ります。

また、市民の窓口利用における利便性の向上と共に、課税並びに納税事務業務全般の安定した運営を図るため、来庁者対応・証明交付・当初課税事務・納税事務等の各種業務について専門性を有する専門業者への委託を行います。

さらに、わが国の経済をデフレに後戻りさせないための措置の一環として、国

が実施する定額減税及び調整給付について早期に実施できるよう進めてまいります。

- ③ 「公共施設適正配置基本計画」第2期に沿い、市有・教育施設の維持管理、施設整備事業をFM（ファシリティマネジメント：保有する全施設資産及びそれらの利用環境を経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画、管理、活用する経営活動）の視点を持って計画的に進めます。併せて、施設更新・活用にあたっては、民間資金の導入に関する調査研究を行います。また、庁舎利用者の利便性の向上と、職員の効率的な働き方の双方に資するよう、受発電設備や什器の更新等、防災機能強化を踏まえた環境整備を計画的に実施します。
- ④ 迅速・丁寧な窓口業務を推進のもと、マイナンバーカードの円滑な申請・交付に努めるとともに、同カードを用いた各種証明書のコンビニ交付などの利便性について周知してまいります。また、来庁せず、同カードとスマートフォンを用いて、オンラインで行う各種証明書のスマート申請を促進してまいります。
- ⑤ 個人情報の適正な取扱いの確保と情報公開制度の適正な運用に努めます。また、文書管理システムの活用による電子決裁及びペーパーレスの推進に努めるとともに電子入札システム導入の準備に着手し、業務の効率化を推進します。